

新型コロナは終息する??

井上 雅彦(本学教職研究科教授、国語教育学)

最近、新型コロナの感染者数が減少してきました。報道番組でA氏が次のように述べたとしましょう。

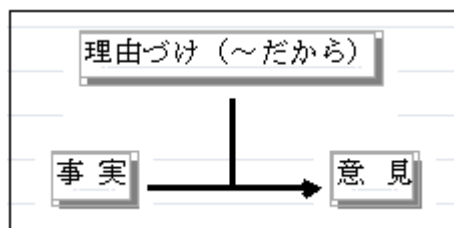
A氏：感染者数が減少した。このまま新型コロナは終息するはずだ。

あなたは頭のなかでA氏がなぜそのような意見を主張するのか、その理由を推測して、意見を理解しようとするでしょう。例えば、「感染者数が全国で50人以下の日が3週間続いているから」のようにです。このように、日常の会話では、「事実」と「意見」だけでわかったつもりになっていることが多いのです。

そのときB氏が次のように主張したとしましょう。

B氏：感染者数が減少した。しかし、次の感染爆発が来るはずだ。

2人は「感染者数が減少した」という同じ「事実」から全く逆の「意見」を主張しているのです。このとき、あなたは両氏のどちらの意見に賛同するのかを決めるに際して、なぜそのような「意見」を主張するのか「理由」を知りたくするはず。それは、人の意見は下図のように「事実」「意見」「理由づけ」の三つが揃ってこそ、信憑性が増し、論理的になるからです。国語教育ではこの三つを「三角ロジック」¹と呼んで、論理的な話し方、書き方をする方法として指導しています。



司会者がA氏とB氏に、その「意見」を主張をする「理由」を聞いたとしましょう。そのときに2人が次のように答えたとします。

A氏：感染者数が減少した。ワクチン接種率がG7で日本は最高だから、このまま新型

コロナは終息するはずだ。

B氏：感染者数が減少した。諸外国では冬を迎えて感染爆発が起きているので、次の感染爆発が来るはずだ。

ここで「事実」「意見」「理由づけ」の三つが揃って、あなたは初めて、どちらの意見に賛同できるのかを検討することができるのです。

例えば、A氏の理由づけに対して、ワクチン接種率がG7で日本は最高だというけれど、何パーセントくらいだろうか、その接種率で集団免疫は達成できるのだろうか、日本と同程度の接種率で感染爆発をしている国はないのか、というように。

また、B氏の理由づけに対しては、冬を迎えればコロナの感染は増えるという科学的なデータはあるのか、あるとして誰が出したデータなのか、というようにです。

さて、あなたはA氏とB氏のどちらの意見が正しいと思いますか?

報道番組やインターネットなどでは、新型コロナの終息に限らず、18歳以下の10万円給付の所得制限の適否、石油備蓄放出の有効性など、政治、世界情勢などについて、様々な「意見」が飛び交っています。私たちはその「意見」を鵜呑みにするのではなく、一度立ち止まって、どのような「事実」をもとにして、どのような「理由」で「意見」が述べられているのかをまず考えることが重要です。

次に、その「理由」は何にもとづいているのか(裏づけ)、それはどの程度確かなのか(限定)、どのような条件においても成り立つのか(反証)などを検討する必要があります。

なにわともあれ、2年にわたるコロナ渦が、このコラムが掲載される頃には終息し、日常を取り戻せていることを祈るばかりです。

¹これは議論の分析モデルとして知られるトゥルミン・モデルにもとづいている。トゥルミン(Toulmin)は、議論を「主張」

「事実」「理由づけ」「裏づけ」「限定」「反証」の6つの要素で分析することを提案した。